

# 議会だより

No.126  
2024.11.1 発行

# もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



毛呂山町マスコットキャラクター  
もろ丸くん

## 表紙の写真

第5回観光協会観光フォトグランプリより

題名『臥龍の杜を颯爽と・・・』

撮影者：田中 志次さん

撮影場所：出雲伊波比神社

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 2P~3P  | 令和5年度決算認定可決！       |
| 4P~5P  | 決算審議ココが聞きたい！       |
| 6P     | 9月議会ではこんな事が決まりました！ |
| 7P     | 請願審議 2件            |
| 8P     | 百条委員会設置決定！         |
| 9P~15P | 一般質問：13人が登壇        |

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



◎議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

# 9月 定例会

令和6年9月議会定例会は、9月2日から9月20日までの19日間の会期で開催されました。

今定例会に提案されました案件は、条例の改正1件、規約の変更1件、補正予算3件、決算の認定6件、利益剰余金の処分1件、契約1件、路線の廃止1件、路線の認定1件、人事2件、諮問2件、報告3件、請願2件、発議1件の合わせて25件が上程されました。また、6月定例会で閉会中の継続審査となっていた請願1件があり、慎重なる審議をいたしました。

一般質問は、議員13名が登壇し、活発な質問が展開されました。

## 教育費

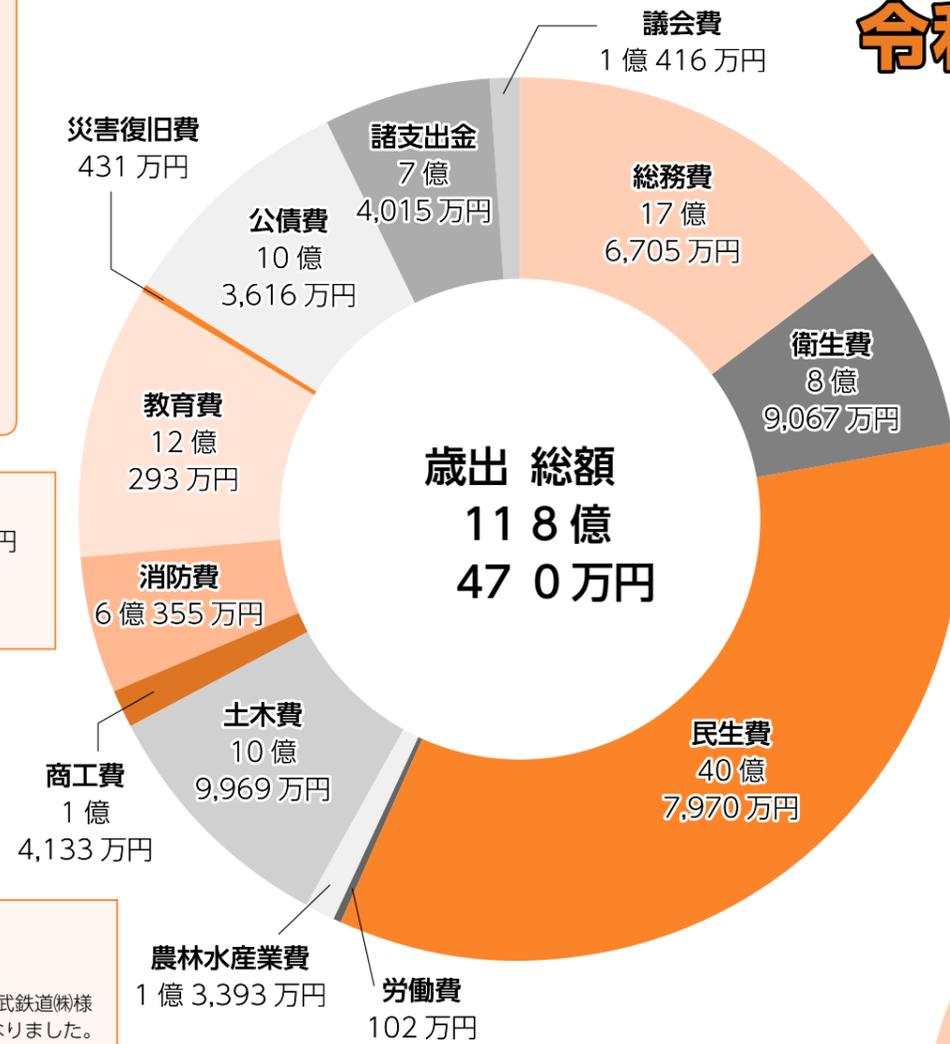
- ・小学校特別教室空調設備設置事業 4,056万円
- ・小学校体育館空調設備設置工事設計業務委託料 1,186万円
- ・中学校特別教室空調設備設置事業 5,036万円
- ・中学校体育館空調設備設置工事設計業務委託料 513万円

## 商工費

- ・キャッシュレスポイント還元事業業務委託料 7,361万円
- ・商工会シーララー補助金 150万円
- ・運送事業者支援金 378万円
- ・毛呂山町観光協会補助金 200万円

## 土木費

- ・川角駅南側駅前広場等概略設計業務委託料 599万円
  - ・川角駅周辺地区整備事業返還金 3億5,004万円
- ※寄附者からは橋上駅舎の設置を前提として寄附金を頂いていましたが、東武鉄道様により無人改札として「学園口」新設の運びとなった為、返還することとなりました。



# 令和5年度決算 貴重な税の主な使い道

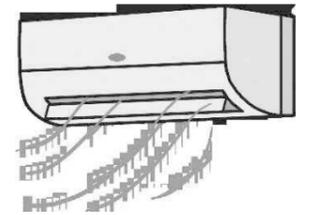
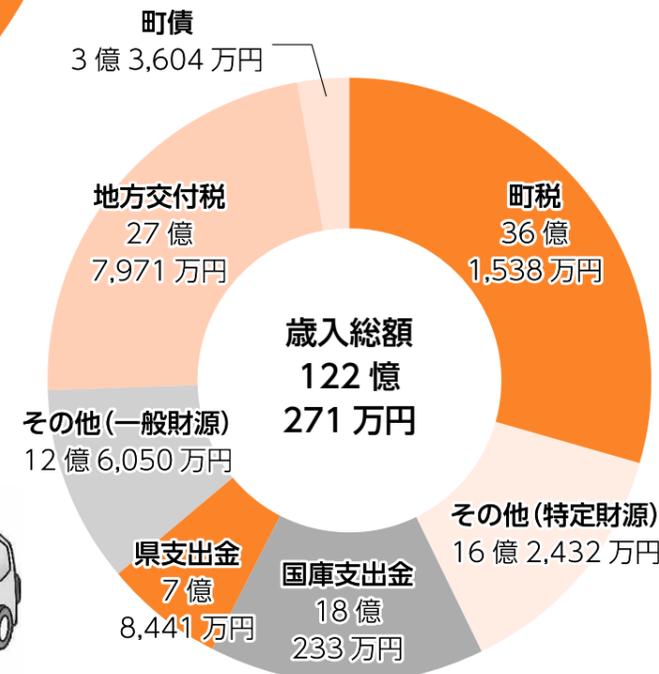
※グラフや表は万円未満を切り捨てのため総額が一致しないことがあります。

## 総務費

- ・電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 1億2,612万円
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3億856万円
- ・町内循環バス運行経費補償金 2,538万円
- ・毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金 501万円

## 民生・衛生費

- ・子育て世帯生活支援特別給付金 1,035万円
- ・出産・子育て応援交付金 975万円
- ・予防接種委託料 6,820万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種委託料 3,161万円



## 令和5年度一般会計決算に対する討論

**賛成 澤田 巖 議員**  
令和5年度は基本理念である「毛呂山町の個性あふれるまちづくり」を目指し推進した年。少子高齢化や多死時代が加速しており、最小の経費で最大の効果をあげているのか、公正公平な税の使われ方をしているのかを念頭におき次世代を担う若者への施策を心から願う。  
町の更なる発展の為に引き続き「尽力をお願いする。」

**賛成 荒木かおる 議員**  
令和5年度は、小・中学校の特別教室のエアコンを導入し、さらに小・中学校6校の体育館にエアコンを導入する為の設計を実施した。また保育所や小・中学校の給食費を、町の一般財源から一年間半額補助を実施したことは、子育て世帯の経済的支援として大変ありがたいこと。今後子育て世帯に響く事業展開を期待する。

## 令和5年度国民健康保険特別会計決算に対する討論



**反対 岡野 勉 議員**  
国はマイナカードの普及に税金を数兆円つぎ込んだが成果は無い。不人気は、制度が信用できない！メリットを感じない。  
今年12月には国民皆保険を支えた「現行の健康保険証」を廃止するという。現在、本町のマイナカード未取得者は9,000人だ。  
この事業は強制でないはず、町民に安全・安心な現行の保険証を存続すべきだ。

特別会計別の決算	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	39億8,524万円	38億9,701万円	8,823万円
水道事業会計	収益的収支	7億2,983万円	1億4,530万円
	資本的収支	4億4,042万円	▲3億 923万円
農業集落排水事業特別会計	4,100万円	3,673万円	427万円
介護保険特別会計	30億9,711万円	29億7,288万円	1億2,422万円
後期高齢者医療特別会計	5億4,613万円	5億4,136万円	476万円

# 予算決算常任委員会の主な質疑

予算決算常任委員会は議長・監査委員を除く12名の議員で構成しています。

資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価するものです。

## 給食サービス事業委託料

決算額 175万円



**問** 諸物価高騰のなか、給食の質の低下に対する苦情があった。足などが悪く買い物に行けない高齢者への配慮は。

**答** 見守りのあり方も含め、実情に即した見直しを検討していきたい。

## 賦課徴収費

決算額 4,979万円



**問** 徴収に係る手数料が高い。最新の納税方法別の手数料は。

**答** ・口座振替 11円  
(ゆうちょ以外)  
・口座振替 10円  
(ゆうちょ)  
・コンビニ、スマホ決済  
(バーコード) 60.5円

**意見** ぜひ口座振替登録の推進をお願いする。

## 緊急通報システム委託料

決算額 137万円



**問** 高齢者の孤独死を防ぐため、また民生委員の負担軽減にも繋がるため緊急通報システムを独居高齢者に無料で貸与するべきでは。

**答** 非常に重要な取り組みだと考える。財源が必要なため、財政当局との調整が必要である。

## 産後ケア事業業務委託料

決算額 23万円



**問** 当初予算よりも安価な決算額になった要因は。

**答** 想定より利用人数が少数に留まった。

**問** 現在、ときがわ町だけが他にも施設が必要ではないか。

**答** 今後、他市町でも利用しやすい宿泊施設等も検討していきたい。

## 保育所費

決算額 2億3,321万円



**問** 保育園の定員割れが大きく民間は運営が難しい。公立2園・民間6園の入所状況は。

**答** 公立2園では定員165人に対し98人〔59%〕、民間6園は定員486人に対し353人〔69%〕と少子化で厳しい現状である。

## 農産物加工センター

決算額 220万円



**問** 農産物加工センターと搾汁棟には年間220万円のコストが発生しているが収入は約70万円と依然として赤字運営となっている。改善のための令和5年度の取組について伺う。

**答** 今後も利用拡大に繋がる手法を検討していく。

# ずばり、ココが聞きたい！



462項目の  
質疑あり！

決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、各種

## 教職員ストレスチェック委託料

決算額 9万円



**問** 「教職員ストレスチェック委託料91,740円」とあるが実施結果について伺う。

**答** 139人実施。高ストレス19人。

**意見** ぜひ今後も実施し、高ストレスを減らす努力をしてほしい。

## 公害対策費について

決算額 203万円



**問** 毛呂山の河川の一部は、大腸菌数が基準以上となっているが、改善対策は。

**答** 今後、大腸菌数の経過を確認しながら、原因を究明し、対策を検討していく。

**問** TN値とは何か。

**答** 全窒素のこと、水中の富栄養化の程度を表す指標。

## 手話講習委託料

決算額 27万円



**問** 毛呂山町手話言語条例が制定され6年、来年東京でデフリンピックが開催、手話言語普及策は。

**答** 手話言語への理解促進に努めてきた。デフリンピック開催の気運の高まりに合わせ、周知啓発に努める。

## 時間外勤務手当

決算額 2,699万円



**問** 時間外勤務手当について令和5年度と令和4年度を比較し、どの様な結果であり、差異に対する原因は。

**答** 前年に比べて26%削減した。原因としては、庁舎内において、出退勤の電子化やシステムの導入などによるものである。

## 学校給食 調理・配送業務委託

決算額 7,517万円



**問** 現在、学校には外国人の方も含め様々な子ども達に通っている。アレルギー対策は如何か。

**答** 完全なアレルギー対策をとるのは難しいが小麦粉を使用しないパンや卵不使用のマヨネーズを使う工夫をしている。

## 小中学校特別教室空調設備設置工事

決算額 小学校 3,913万円 中学校 4,880万円



**問** 小・中学校特別教室の空調設備設置工事は、目的を達成したのか。

**答** 小学校は、理科室・図工室の2教室。中学校は、美術室・技術科室・理科室・調理室・被服室等の6教室に設置。暑い日でも快適な学習環境が整備された。

# 9月議会ではこんなことが決まりました!!



外壁工事が完了しエアコンとLED照明でより良い施設に

中央公民館・総合公園体育館のエアコン導入に一步踏み出しました。  
総合公園の照明もLED化に向けた予算計上がありました。

- ・中央公民館講堂空調設備設置工事 設計業務委託料 339万1千円
- ・総合公園体育館空調設備設置工事 設計業務委託料 793万4千円
- ・総合公園照明LED化工事設計業務委託料 999万4千円

## 令和6年度一般会計補正予算ピックアップ

コロナウイルスワクチン接種が自己負担3000円で受けられます。

予防接種委託料 6753万円  
対象者 65歳以上の方など

接種期間 令和6年10月1日から  
令和7年3月31日まで

接種見込者 5200人  
接種費用内訳 国の助成 8300円

町の補助 4600円  
自己負担 3000円  
総額 1万5900円

### 討論 ～私はこう考える～

#### 賛成討論

荒木 かおる 議員

町の指定避難所でもある中央公民館と総合公園体育館への空調設備の設計予算が計上されており近年多発している自然災害に対し、住民の安全を確保する避難所環境向上のために必要な予算。非常に有利な緊急防災減災事業債を、今回の設計予算をはじめ、多額の予算が想定される工事費にも活用できる。さらなる防災対策の充実を。

区分	補正前	補正額	補正後
一般会計	112億1,543万円	4億 649万円	116億2,193万円
特別会計	国民健康保険	6,472万円	37億6,200万円
	介護保険	1億1,922万円	32億4,192万円

※万円未満切り捨て

### 追認 小学校教師用教科書・指導書・教材購入契約の締結

#### 契約の目的

小学校教師用教科書・指導書・教材購入

#### 契約の方法 随意契約

契約金額 724万5334円

(うち消費税等63万470円)

契約の相手方 のとや成野書店

#### 追認の経緯

教育部局において、教師用教科書・指導書・教材が700万円以上の予算となり、本来ならば議会の議決を得る必要がりましたが、「消耗品」のなかに一括計上され未議決議案が発生しました。教科書の改定は4年に一度であり、職員の見過ごしが原因でした。県内でも約20市町に及んで同様の未議決問題が発生しました。



## 採 択

# 豪雨時における川角中学校南側道路（町道第7号路線・町道第3864号路線）の冠水および谷ヶ<sup>やがまた</sup>跨水路氾濫に対する抜本的対策実施を求める請願

提出者 小坂橋 康之氏 紹介議員 中村 奨平

提出日 令和6年8月14日

### 請願の要旨

当該地は豪雨時に冠水するだけでなく激流となり、周辺住民や子ども達の命が危険にさらされている為、抜本的対策を求める。

川角中学校南側道路の冠水、水路の氾濫は、豪雨の度に請願者と同じ思いを抱いている。周辺住民と子ども達の生命の危険を察し、早急な安全確保を強く求める。尚、下流の用水路は狭く・浅く・曲がりくねっており、容易に用水路の越水、床下浸水が起きやすい。そこで対策は、当地区から下流域と一体的に考察、講じて頂きたい。

### 賛成討論

岡野 勉 議員

### 討論

「私はこう考える」



児童生徒が毎日通る通学路でもある危険な道路および水路

## 趣旨採択

# 農業委員の任命過程を明らかにするよう求める請願

提出者 峯岸 英男氏 紹介議員 長瀬 衛

提出日 令和6年5月15日

### 請願の要旨

令和6年2月29日に開催された毛呂山町農業委員候補者評価委員会の結果についてその根拠と理由を明らかにするよう求める。

### 主な趣旨採択理由

本請願に記載されている「私が農業委員として不適格である旨、任命できないとの通知を受けました。その不適格根拠として関係者が提出したとする意見書の内容は、全く一方的で身に覚えがなく、私に対する弁明機会すら与えられていません」との内容のとおり町の一連の任用行為に対して疑義があると認識する。しかしながら、請願者が求めるようなさらなる調査は生活福祉常任委員会の権限の範疇を超えている。そのため趣旨採択とする。

委員長報告は、町の一連の任用行為に疑義があり、請願者本人の能力や人格を否定しかねないものであるとしている。請願者が求めるような更なる調査は本委員会の範疇をこえているとしており、真相解明と再発防止の為に議会としての責任を果たすべきであり、趣旨採択に賛成する。

### 賛成討論

長瀬 衛 議員

3月議会で議会は人事議案に同意の意思決定をした。今回の請願の提出者は、この人事から外れた方であり、請願の趣旨は、農業委員会委員の町の選考方法に対し不服を申し立て、議会に諮って欲しいというもの。選考方法に不服があるならば、請願者ご本人が町に対して不服を申し立てるものであり、議会に委ねるものではない。

荒木 かおる 議員

### 反対討論

この農業委員の選任についてはすでに3月議会で同意を議決している。全く可能性のない請願についてはハッキリと不採択とすべきである。また意見書の提出も言っているが、意見書は地方自治法99条で公益に関する事件とされており、今回のような私的な名誉回復のために意見書の提出は地方自治法違反であり、よって反対する。

高橋 達夫 議員

### 討論

「私はこう考える」

# 百条委員会 可決!!

## 農業委員の任命過程の 事務調査に関する決議

提出者 長瀬 衛 賛成者 堀江 快治

提出日 令和6年9月6日

**提案理由** 令和5年11月1日から12月11日までの期間で実施された毛呂山町農業委員の応募にあたり、6名の定員に対して6人の応募があったことを町が令和6年1月9日にネット上に公開した。その後、「候補者の中に農業委員になじまないと思われる方がおり、任命の際、検討してほしい」という2月14日付の意見書が町に提出された。そして、2月29日に農業委員候補者評価委員会が開催され、関係者の意見聴取を行い、その内容が町長に報告された。その結果、令和3年5月から農業委員として3年間、認定農業者としての経験を活かしながら、農業委員会総会でも積極的に意見を述べるとともに農地の適正管理や農地集積等において職責を誠実に果たしてきたと思われるM氏が候補者から除外された。また、令和6年5月15日に「農業委員の任命を明らかにするよう求める」請願がM氏より提出され、6月7日に開催された生活福祉常任委員会で参考人として出席し、「一度も自身への弁明機会も与えられず、意見書の内容は、全く身に覚えがない。」と断じていた。7月19日に同委員会に参考人として出席を求められた候補者評価委員の答弁は、全く真実性のない無責任極まりないものであったが、同委員会では趣旨採択となった。趣旨採択理由や意見のおもな結論は以下のとおりである。

- ① 請願者が求めている更なる調査は、本委員会の範疇を超えている。
  - ② 関係者のみの意見を受け入れ、請願提出者の能力や人格を否定するもので、町側の配慮が不足していた。
  - ③ 町の一連の任用行為に対して疑義があると認識する。
  - ④ 請願者本人の農業委員としての能力や人格を否定しかねないもので町側の配慮が不足していた。
- 以上のことから、農業委員の任命が公正・公平に行われるよう再発防止のために地方自治法第100条に定めた調査特別委員会の調査による真相解明が行われることを望むところである。

※農業委員会の人事については、令和6年3月議会で同意と議決しました。

### 百条委員会とは

百条委員会の調査権は、議会の持つ重要な職責を十分果たすために、自治体の事務について調査ができる権限です。単に執行機関に質問や資料の提出を請求するだけでなく、関係者の出頭や証言・記録の提出を求めることができます。虚偽の陳述、証言拒否、不出頭、記録の不提出者には、議会が告発し、制裁として禁固刑などが科せられる強力な権限があります。

### 特別委員会委員

9月議会において、農業委員の任命過程調査特別委員が左記のとおり任命されました。

委員長	長瀬 衛	議員
副委員長	佐藤 秀樹	議員
委員	堀江 快治	議員
	高橋 達夫	議員
	岡野 勉	議員
	荒木かおる	議員
	平野 隆	議員

### 討論 ～私はこう考える～

#### 百条委員会の設置に反対します

**高橋 達夫 議員**  
提案者はこの件が町の任用行為であることを全く理解していない。  
このような事で百条委員会の設置を求めることは、毛呂山町議会が他の市町村から笑われるような行為であり、私はこの発議第2号農業委員の任命過程の事務調査に関する発議には反対する。

**佐島 啓晋 議員**  
通常の業務を行っている職員が、議員から疑義をかけられることは、パワハラと受け止められ担当職員が退職した場合には、裁判沙汰になる危惧もある。議会側に責任を追及されたら誰が責任をとるのか。任命過程については、農業委員候補者評価委員会を再調査すべき問題であり、百条委員会開催には理由がないので反対する。

一般質問

# 町政を問う!

~13名が登壇~

- 教育・子育て環境の充実
- 道路行政
- 都市計画

小峰 明雄

- 本町の教育行政における諸課題
- 再生可能エネルギー事業

堀江 快治

- A E Dのコンビニ設置
- ファミリー・サポート・センター利用状況
- 拡張的予算編成の採択

佐島 啓晋

- 防災体制の整備・充実
- 自治会運営
- 若者世代との意見交換

荒木かおる

- まちづくりの方向性
- 学校教育の現状

長瀬 衛

- 子育て支援体制の充実
- おくやみコーナーの設置
- 役場窓口のサービス向上

千葉三津子

- 施設一体型小中一貫校計画
- 鎌倉街道上道
- 町のベンチをもっと増やして

小野 浩

- 小中学校統廃合
- 少子化対策
- P P Aおよび給食センター

中村 奨平

- 毛呂山町の防災
- 当町のD X化
- 毛呂山町の里山

平野 隆

- 部活動の地域移行
- 町内安心安全対策
- 学校統廃合
- 川角駅周辺整備

佐藤 秀樹

- 毛呂山町立小中学校編成計画
- 金利ある世界と物価高騰における町の財政対策は

高橋 達夫

- 毛呂山町の学校統廃合
- 現行の健康保険証存続を

岡野 勉

- 治山治水、災害対策

澤田 巖

## こども家庭センターの設置は

### 答 令和7年4月1日を予定



小峰 明雄

**問** 連続116回目の一般質問  
毛呂山町の教育、前年度と比較  
した、ご所見は。

**答** 木城町に小学生の派遣。校  
内教育支援センターを設置。

**問** 令和6年第1回議会定例会  
一般質問した中学校吹奏楽部の  
楽器、一般質問後の取り組みは。

**答** 必要な楽器の調査を行った。

**問** 健康教育の推進への取り組  
み・評価・課題は。

**答** 朝食の欠食率が中学校で、  
県平均を上回っている。  
**問** 朝ごはん体験教室が、7月  
25日に開催。成果・課題は。

**答** 朝食を食べる大切さを意識  
していただけたものと考えてる。

**問** 小田谷地内の町道7038  
・7043をつなぐ平成24年度  
からの生活道路の整備要望は。

**答** 財源の確保が必要。

**問** 滝ノ入地内の町道6276  
平成14年に拡幅用地を取得済み。  
途中まで拡幅工事を実施したが、  
区からの要望もあるが、工事を  
実施できない理由は。

**答** 工事の実施は、大変難しい。

**問** 阿諏訪地内の町道72  
40の側溝整備は中断して  
いるが、過去に工事の継続  
する旨の答弁をいただいた  
が、実施できない理由は。

**答** 法面保護工事に多大な  
費用が、かかってしまった。

**問** 都市計画マスタープラ  
ン、施策の進捗状況は。

**答** 指定した産業誘導区域  
全ての立地を実現できた。

**問** 都市計画マスタープラ  
ン、令和8年度に向けた、  
見直し等。ご見解は。

**答** 次期、第六次総合振興  
計画に合わせて見直す予定。



こども家庭相談体制の更なる充実を

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

## 今、最優先すべきは基礎学力の向上！

### 答 確かな学習内容の定着に取組む



堀江 快治

**問** 県内自治体の中で本町の学力水準が極めて低い状態が継続している要因は。

**答** 学力中間層の伸びが無い事など様々な要因が考えられる。

**問** 現在の小中学校における空き教室の数は。

**答** 毛呂山小11教室、川角小3教室、光山小19教室、泉野小14教室、毛呂山中8教室、川角中16教室である。

**問** なぜ、極端に川角小だけ空き教室が少ないのか。

**答** 川角小は建築面積が少なく転用している教室も多いため。少人数学級はきめ細かな指導

ができるため、学力向上に非常に有効である。空き教室をどう活用していく考えなのか。

**答** 教科センター方式など様々な活用を検討していきたい。

**問** 少人数学級による教員の不足分は子ども達のために町費で負担し、今こそ町全体で教育のソフト面に力を入れることが必要では。

**答** 検討していきたい。

**問** なぜ、教育委員会は施設一体型小中一貫校に固執するのか。

**答** 単学級の解消など、より良い教育環境を目指しているため。

#### 再生可能エネルギー事業

**問** 給食センターにPPA方式で導入した太陽光発電の買取単価が34・2円というのは環境省の資料を見ても極めて高い金額である。他の自治体の状況は。

**答** それぞれ条件が違うので判断が難しいが、10円代から20円代が多い。

**問** スタートが肝心なので、近隣自治体のように協議会などの組織を設置し、比較検討論も踏まえるべきだ。

**答** さらに関係課で情報共有を図っていく。

## コンビニにAEDを設置できないか

### 答 救命率向上に欠かせないので、鋭意研究する



佐島 啓晋

**問** 多くの公共施設にAEDが設置されているが、24時間開いているコンビニに設置することで多くの人命救助に役立つと考えている。本町の設置状況は。

**答** コンビニは町内に12店舗ありいずれも設置はされていない。1台当たりの本体価格は50万円程度で、その他設置費用が掛かる場合がある。AEDは救命率向上には欠かせないものなので、多くの地域住民の方々が使用できるよう、引き続き設置箇所や運用方法などについて鋭意研究していく。

**問** ファミリー・サポート・セ

ンターの利用状況は。

**答** 利用会員へ1時間当たり400円の補助を開始したことに伴い、前年同期比よりも約2割程度増加している。子育て中のご家庭を支える地域力が重要な場においては、ウイズ毛呂山などの公共施設を保育場所として活用できないか検討し、更なるサポートの充実に努める。

**問** 1人あたりの本町の歳出額は約33万円であるが、越生町は約41万円、鳩山町は約42万円である。住民意向調査では、ある程度の住民負担が増えても行政

サービスを維持して欲しい人が43%となる。拡張的予算編成の採択は。

**答** 持続可能なまちづくりの観点から「健全な財政運営」を最重要視している。住民一人当たりの令和4年度の負債額は本町が約31万円、越生町約40万円、鳩山町約59万円になっている。限られた財源の中で、住民サービスの向上と、各種行政施策の成果を出していくのが町行政の責任であり、今後も身の丈に合った財政運営を心がける。



コンビニにAED設置で救命率の向上を！



廃校が計画されている小学校3校 / 統合には議論が必要！

# 大規模地震の備えは

## 答 的確に対応できるよう対策を講じる



荒木かおる

**問** 8月8日南海トラフ地震臨時情報の発表により町の防災体制にどのような影響があったか。

**答** 巨大地震発生時において職員の速やかな参集が重要と認識

**問** 緊急時連絡体制と配備体制の再確認を実施し防災体制を整えた。

**答** トイレ問題、避難者対応、ペットの同行避難等、町の避難所運営の対応や考え方を伺う。

**問** 避難所運営組織が結成されるまでは職員や施設管理者等で避難所の対応をすることになる。

**答** トイレ問題の解決や、ペット同行避難へのスムーズな対応を図

し、各所属長における職員間の緊急時連絡体制と配備体制の再確認を実施し防災体制を整えた。

**問** トイレ問題、避難者対応、ペットの同行避難等、町の避難所運営の対応や考え方を伺う。

**答** 高性能の災害用移動設置型トイレで衛生機能が高く、避難所の生活環境の向上に大変有効なものとして認識している。導入費用、維持管理費用、運用方法を調査しているところ。

**自治会運営**

**問** 自治会運営が厳しくなっている声を多く聞く。区長への負担軽減を進めていくことも効果

り、円滑な避難所運営を行うことが重要と認識している。

**問** 昨年度の3月議会で能登半島地震で大活躍したトイレトレーラーの導入について質問したが、その後の検討状況は。

**答** 高性能の災害用移動設置型トイレで衛生機能が高く、避難所の生活環境の向上に大変有効なものとして認識している。導入費用、維持管理費用、運用方法を調査しているところ。

**問** 富山県で青年議会、沼津市では二十歳の議会等、全国の自治体で若者の意見を政策に反映させる取組が行われているが如何か。

**答** 複数自治体での特色ある取組は認識している。今後、そのような事例を十分研究し参考にしていきたい。



避難所ではトイレが重要課題

# 町づくりの方向性が間違っている

## 答 市街化区域への都市機能誘導を展開する



長瀬 衛

**問** 都市計画で定めた町づくりの方向性が蔑ろになっている。20年後は、人口2万2千人、高齢化率47%、年少人口5%台となり、行政の在り方が大きく変

化する。令和5年度人口移動状況で20代〜30代の出生率に関わる若者世代（日本人）が160人も転出超過になっていることが、ブラックホール型自治体の根源である。4つの鉄道駅を核にした中心市街地の賑わいによって「歩いて暮らせるコンパクトな町づくり」に尽きる。現状と課題は何か。

**答** 市街化区域に持続可能でコ

ンパクトな町づくりを実現するために立地適正化計画を策定し進めているが、人口減少や少子高齢化が進行し、空き家の増加や中心市街地の空洞化が懸念される。市街化区域への都市機能の誘導や居住誘導、空き家対策等を展開している。

**学校教育の現状は**

**問** 学校教育の目標は、学力を高め、社会規範を学び、体力を養い、将来の日本や地域社会を担う人づくりにある。児童生徒の学力・学習調査結果は、この10年間、全国・県平均を大幅に下回っている。

**答** 学力向上支援員等を配置し、学力向上を図ってきた。直近10年間の児童生徒の全国学力・学習状況調査の結果では、全国・県平均を下回っているが、差が小さくなっている。

**問** 不登校の増大やイジメは深刻な課題であり、文科省の資料では大人数学級が不登校の「壁」になるとある。本町生徒の現状は。

**答** 不登校割合は、8・6%である。多様な要因と背景があり、早期発見、早期対応に努める。



取り残されている駅周辺の空き店舗対策

## 妊産婦をサポートする新たな事業は

### 【答】家事支援サービスの実施を検討



千葉三津子

な点にあるのか伺う。

【問】令和7年度に母子保健機能

と児童福祉機能の一体的な運営を行う「こども家庭センター」を設置するとの事だが、子育て世帯の課題やニーズはどのような

用は出来ないと聞いている。長期休暇中の児童保育が利用できるようにになれば「本当に助かる」と感じる保護者は多いと思うが、サービスの拡充を伺う。

【答】長期休暇中のみの利用も可

として近隣自治体もある。児童保育所サービスの拡充、保育体制の強化等を検討して参る。

【問】児童保育でデジタルドリルを利用した学習を行っている

と聞いている。町の小中学校でもデジタルドリルの導入を検討している

【答】児童保育所とも連携し、効果的な利用ができるよう進める。

### 【問】おくやみコーナーの設置

住民サービス向上の観点から、遺族の方などが死亡届を提出後、様々な手続きが進むよう令和5年12月議会で質問をしたが如何か。

【答】役場1階の相談室の利用を検討している。

【問】役場窓口のサービス向上

耳が聞こえ難い方、障がいのある方、日本語が話せない外国人のためのサービスとしての検討は如何か。

【答】軟骨伝導イヤホンや窓口の亚克力板の字幕表示システムの導入を検討する。

## 一体型がよいというエビデンスは

### 【答】特にこれがよいというエビデンスはない



小野 浩

【問】議会で梅園小へ視察に行った時、子どもたちが生き生きと取り組んでいたが如何か。

【答】梅園小は小規模校。教師の手が入りやすい。

【問】一体型小中一貫校がよいというエビデンス(根拠)を伺う。

【答】特にこれがよいということはない。地域に合った学校がふさわしい学校。老朽化、児童生徒減、教員減で望ましい環境を整えるのは困難。望ましい施設は中学校を中心とした施設。多くの教員の目で見て育てる安心

【問】エビデンスなしで実施して

安全な施設をつくる。

失敗したら戻せないが。

【問】現在の小中一貫教育をさらによいものにして、子供達の学習環境をきちんと揃えたい。

【答】2022年に鎌倉街道上道が国の史跡に指定された。全国的に見て極めて貴重な史跡と聞いた。指定に至る経過とその後

【問】鎌倉街道上道と周辺の遺跡群の保存状態が極めて良好という

【答】鎌倉街道上道と周辺の遺跡群の保存状態が極めて良好という

【問】意見具申書を国に提出した。多

【答】意見具申書を国に提出した。多

【問】世代への周知や保存管理、「ふ

【問】町のベンチを増やして

【問】ウォーキングコースは

【問】公園60箇所のうち、37

【問】駅北口・南口、役場前バス

【問】憩場所を増やしていくよう

【問】取り組みたい。

【問】ゆとりの環境を守りたい



子育て家庭に対する支援の強化を



ゆとりの環境を守りたい

## 4小学校維持した場合と編成計画の工事費の差額は

### 答 編成計画の方が約14億円抑えられる



中村 奨平

**問** 統合による県費含む教員等の人件費の年間削減額は。  
**答** 約1億3千万円抑えられる。  
**問** 誤解のないように確認だが、教員は解雇ではなく、県内の教

員が不足している等の学校に異動になるのか。  
**答** 他市町村での任用となる。  
**問** R12年度には光山小学校の全児童数は128人、川角小学校は162人の見込み。既に出生した数に基づくため、大きく変わることはない。児童が急激に減るだけではなく、今後15年で町の人口は約1万人減少すると予想される中、老朽化する学

校を全て維持する事の負担は誰がすることになるのか。  
**答** 一般的に起債を行い長期に支出を行うことから、将来世代に負担を担って頂く事になる。  
**問** 町が実施した住民意向調査によると子育て支援取組のうち強化すべきものに対し、61%が「子どもが遊べる場の充実」という回答であった。新座市大和田水辺の丘公園や狭山市入間川にこにこテラスのような町の目玉になるような整備計画は。  
**答** 研究していく。  
**問** 給食センターPPA事業では電気料金単価34・2円で契約

したが、同規模施設の他市では22円などの安価なケースが多い。問題ないか。  
**答** R4年度の電気料金38・4円と比較し安いと判断。  
**問** 円高、原油安になれば電気料金は下がる。R3年度と5年度の平均単価は。  
**答** R3年度19・2円、R5年度30・7円。  
**問** 逆ザヤである。今後電気料金下落時でも、町は34・2円で購入し続けなければならぬ。問題ないか。  
**答** R4年度の平均単価を参考にした、問題ない。

## 地震に対する備えは

### 答 出来ている



平野 隆

**問** 当町の地震に対する備えと対策を伺う。  
**答** 毎年住民の方や関係機関を交えた町防災訓練を実施している。この訓練では災害対策本部

を設置し、関係機関に出動要請して応急対応を実施するなど、いつ大地震が発生してもおかしくないことに留意して職員初動マニュアルを基に対策を整えている。  
**問** 当町の風水害に対する備えと対策を伺う。  
**答** 町の計画に基づき防災マップを配布し、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの情報を住

民の方々へ周知し、有事に備えている。また、水防団と連携し水害対策に努めている。  
**問** 防災計画の更なる見直しの予定はどうか伺う。  
**答** 見直しについては令和5年3月に改定しており、現在での見直しの予定はないが、今後も慎重に検討してまいる。  
**問** 町のDX化は順調に進んでいるのか伺う。  
**答** 令和4年度に策定した独自のDX推進計画に基づき、順調に進んでいる。

**毛呂山町の農業**  
**問** 当町の農業支援、ご所見を伺う。  
**答** 地域や目的に応じた支援を行っていく。  
**問** 猛暑の影響を伺う。  
**答** 出荷量の減少、品質低下などが見られる。  
**問** 鳥獣被害の現状は。  
**答** 160万円以上と想定。  
**問** 毛呂山町の里山  
**問** 町内の森や里山が減少傾向にあるが、如何か。  
**答** 大類の森を中心に活動している里山サポートクラブ毛呂山と連携し、里山の保全に努めてまいる。



外壁工事を終えた庁舎

最新版 (単位:人) 児童生徒数 見込み	令和6年度	令和12年度	令和16年度
毛呂山小学校	323	261	223
川角小学校	321	162	134
光山小学校	214	128	108
泉野小学校	223	183	161
小学校合計	1081	734	626

※令和12年度は既に生まれた児童が対象であり、この年代が転入超過にならない限り大きく外れない。特に減少するのは川角・光山小学校。ここ数年の出生数は100人前後が続いており、4小学校全て合計しても600人近くになる未来はすぐそこまで来ている。

僅か10年で児童数が激減する未来は避けられない

## 部活動は子供の成長に重要な活動だ

### 【答】 今後も部活動を通じた生徒の育成を図る



佐藤 秀樹

**問** 学校教育課が考える部活動の地域移行に対する今後の計画はどの様な事か。

**答** 次年度の夏季休業日から一部の部活動の地域移行を行い、

令和8年度には休日の部活動移行を目指す。

**問** 周辺の4大学と協力し合う事も重要と考えるが如何か。

**答** 大学と調整を図り積極的に連携を図って行きたい。

**町内安心安全対策**

**問** 武州長瀬駅南側、りそなATM付近の歩道が傾斜で波を打っており改善を図って頂きたい。

**答** 具体的な要望を頂いたので

現状を確認し、改善策を検討して参る。

**問** 市場地区に倉庫業が開業され、今後更にトラック等交通量が増える予想される。地元より以前から横断歩道を設けてもらいたいとの要望もある場所でもあり早急な対応が必要と思うが如何か。

**答** 改めて横断歩道の設置が必要であると捉えており、西入間警察署と協議を図り、設置に向けて進めて参る。

**学校統廃合**

**問** 毛呂山町立小・中学校編成計画に基づき進んだ場合、この

先、教育の拠点は川角になるのか。毛呂山町は旧毛呂村と旧川角村という歴史もある中、どの様に説明していくのか。

**答** 何十年後になるかわからないが、その時は住民の意向、生徒数などを考慮し検討して行く。

**川角駅周辺整備**

**問** 地元大学とどの様な調整を進めているのか。

**答** 地元3大学と整備に向けた協力、整備後の交通安全、環境美化、賑わいづくりなど協議を進めている。

**金利のある世界と物価高対策**

**問** 日銀は本年2度目の利上げを決定した。これにより町への影響はあるか。

**答** 金利の無い時代が終わりを告げ、物価が上昇するインフレの時代が始まり、金利のある世界への回帰を感じている。町への影響は資金調達と資金運用に影響があると考える。

**問** 町には約26億円の基金がある。昨年の運用利息は。

**答** 特別会計の基金を含めて総額で約2万5千円の運用利息であった。

**問** 正に金利の無い世界の典型

である。今後の基金対策は。基金に関する現金は最も確実かつ有利な方法で保管しなければならぬと明記されている。今後は国債での資金運用や長期の定期預金など会計課と検討する。

**問** 本年度町では学校給食費無償化事業を実施している。昨今の物価高の影響は。

**答** 米飯については約6・7%、パンは2・7%上昇している。献立で副食やデザート食材選定を工夫し学校給食の質の維持に努めている。

## 小中一貫校に対する子ども議会での質問は

### 【答】 学校を統廃合し削減される費用の有効活用を



高橋 達夫

**問** 8月1日の子ども議会でも小中一貫校に関する質問があったと聞くがその内容は。

**答** 1人目は「毛呂山町小中一貫校」についての題で子供が減

少する現状を踏まえ、4つの小学校、2つの中学校を維持するには費用がかかる視点から小中一貫校を望む提案であった。学校を統廃合することにより削減される費用を有効活用し、町の魅力アップ事業への活用を要望。

**問** 2人目は「廃校する学校について」の題で小中一貫校により廃校となる学校に子供の室内の遊び場開設への要望であった。

**問** 正に金利の無い世界の典型

である。今後の基金対策は。基金に関する現金は最も確実かつ有利な方法で保管しなければならぬと明記されている。今後は国債での資金運用や長期の定期預金など会計課と検討する。

**問** 本年度町では学校給食費無償化事業を実施している。昨今の物価高の影響は。

**答** 米飯については約6・7%、パンは2・7%上昇している。献立で副食やデザート食材選定を工夫し学校給食の質の維持に努めている。

**問** 町には約26億円の基金がある。昨年の運用利息は。

**答** 特別会計の基金を含めて総額で約2万5千円の運用利息であった。

**問** 正に金利の無い世界の典型

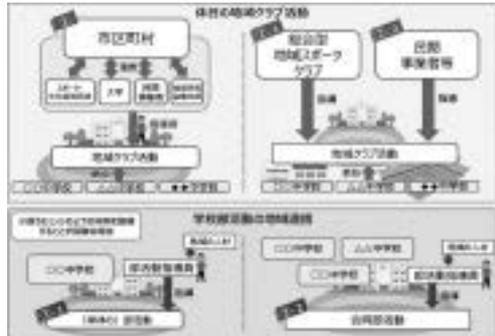
である。今後の基金対策は。基金に関する現金は最も確実かつ有利な方法で保管しなければならぬと明記されている。今後は国債での資金運用や長期の定期預金など会計課と検討する。

**問** 本年度町では学校給食費無償化事業を実施している。昨今の物価高の影響は。

**答** 米飯については約6・7%、パンは2・7%上昇している。献立で副食やデザート食材選定を工夫し学校給食の質の維持に努めている。



小中一貫校の質問が掲載された広報もろやま



出典：スポーツ庁ホームページ  
国が進める今後の中学校部活動

## 学校統廃合は少人数学級に逆行する

### 答 小学校教員は61名から44名となる



岡野 勉

民説明会、保護者会など沢山の意見を頂き学校編成計画(案)は、今年の3月には(案)が取れたものと認識している。

いま審議している毛呂山町立小・中学校編成計画(案)は検討の段階であり、決定事項ではない。町の認識はどうか。

今年1月、4小学校体育館での学校編成計画(案)の住民説明会。同じく、1月〜2月に行われたパブリックコメントでは圧倒的に反対の意見表明があり、対する町・教育委員会からは、まともな回答と納得できる

丁寧な説明はなされなかった。全く住民合意は取れていない。

毛呂山町の学校統廃合は小学校全体で8クラスが減少(1クラスの人数が増える)し、先生方が31人削減される中で少人数学級に逆行する。

文科省は少人数学級の必要性和効果として、きめ細かな指導による学習意欲の向上を上げている。また、児童生徒と教員の接する時間の確保で、不登校の減少にも言及しているが如何か。

本町の現時点でのマイナンバーカードの取得率及びカードの未取得者数は、どれだけになるか。

カード取得者は2万3888人、及びカードの未取得者は8923人である。

約9000人が未取得者だ。マイナ保険証が如何に嫌われているか。そこで、資格確認書だが何年間発行されるか。国民皆保険制度継続のため現行の健康保険証の存続を強く要望するが、資格確認書の期間は5年間発行される予定だ。

## 自然災害対策は最重要課題の一つ

### 答 治山治水は政の要である



澤田 巖

豪雨時の道路や水路の被害状況及び対策について伺う。

8月29日の台風では川角中学校南側交差点にて15センチほどの道路冠水があり職員を派遣。

雨水桝清掃を行い通行可能になり、今後の対策として集水機能を高めるために桝を大きくする等の対策を検討。宿谷や滝ノ入地内においては土砂崩れが発生したが翌日には町内業者が撤去作業を実施して正常化した。

どんな治水対策を施したのか。令和元年の台風19号では一級河川が氾濫し多くの場所で甚

大な被害が発生した経験を踏まえ被災された地元地区、耕地組合等と連携して堤防の嵩上げや河川改修を埼玉県に要請。苦林地に大きな被害はなかった。岡本団地では北側の堤防嵩上げや大型土のうの設置完了。平山地区も毛呂川改修に向けた設計が最終段階であり、今後も河川改修等が必要な場合は河川管理者の埼玉県に強く要望していく。

現在進めている旭台地区及び第四団地の雨水対策は。旭台地区は概略設計を委託済。どのような排水整備等が必要であるかなどを検討中。第四

団地は雨水排水対策の現況調査の業務委託済。排水流末の構造の改善が課題であると考えている。

防災対策はどこまで想定するのか、どれほど準備する必要があるのか、担当課は苦慮しているが。

近年ではゲリラ豪雨などにより内水氾濫の危険性が増しており雨水排水対策の必要性がある。古より治山治水は政の要という言葉通り、町としては災害対策について先手先手の施策を打ち込んで行くよう努める。



危機管理は想像力と準備

学校名	児童数	学級数	1学級の児童数	一貫校1学級の児童数
毛呂山小	273	14	21~25	24~35
泉野小	172	8	23~34	
川角小	185	10	20~32	20~35
光山小	141	8	17~29	

※令和11年度の数値を記載しています。

小中一貫校(統廃合)で35人学級が増加する

# 人事

◎固定資産評価審査委員会委員

山口 智一 氏

越生町大字上野  
昭和42年1月生

◎教育委員会委員

岡崎 真理 氏

毛呂山町目白台  
昭和42年1月生

◎人権擁護委員

波田 眞澄 氏

毛呂山町大字葛貫  
昭和27年10月生

初野 誠治 氏

毛呂山町大字滝ノ入  
昭和19年6月生

# 傍聴席

9月定例会傍聴者数	
本会議日	傍聴者数
9月 2日(月)	3名
9月 3日(火)	10名
9月 4日(水)	31名
9月 6日(金)	30名
9月 9日(月)	8名
9月20日(金)	3名
合計	85名

※定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)開かれます。

## ●議案の審議結果(9月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名											審議結果			
		中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	
決算認定	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	議	認 定
	国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	認 定
	水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
剰余金	毛呂山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部改正	毛呂山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正予算	一般会計(第3号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険特別会計(第2号)、介護保険特別会計(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
契約	小学校教師用教科書・指導書・教材購入契約(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
規約変更	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意
諮問	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
請願	農業委員の任命過程を明らかにするよう求める請願	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	議	趣旨採択
	豪雨時における川角中学校南側道路(町道第7号路線・町道第3864号路線)の冠水および谷ヶ跨水路氾濫に対する抜本的対策実施を求める請願	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	採 択
	「川角小・光山小・泉野小の廃校計画の撤回」を求める請願	総務文教常任委員会へ付託													閉会中の継続審査	
発議	農業委員の任命過程の事務調査に関する決議	退席	×	○	退席	退席	退席	×	×	○	○	×	○	○	議	原案可決
	町道の路線の廃止、町道の路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

# あとかき

この冊子が皆様のお手元に届くころには肌寒く、師走が近づいていることでしょう。翌年に毛呂山町は合併70周年を迎えます。一方、2040年に当町の人口が2万4千人になると推定されており、2045年には2万人を切るかもしれません。やみくもに不安を煽りたいわけではありませんが、正しく危機感を持ち、問題に対処すべきです。

「人間は考える葦である」という有名な言葉があります。続きには「人間の尊厳は、すべてその思考の中にある。よく考えることに努めよう。考えることにこそ、道徳の原理があるのだ。」素晴らしい合併100周年を迎えられるよう、町民皆様の叡智をお借りしながら全員で未来の毛呂山町の為に考えて参ります。

中村 奨平

## 編集委員

委員長 澤田 巖  
副委員長 荒木 かおる  
委員 中村 奨平  
佐島 啓晋  
小野 浩  
佐藤 秀樹

アドバイザー

(議長) 下田 泰章